

12世紀外京北部の景観 —撰関家の都市—

日 時：2017年10月4日(水)16:30～18:00

場 所：文学系S棟 126 教室(前回と違います)

報告者：前川 佳代

(奈良女子大学古代学学術研究センター協力研究員)

平安時代末期において、奈良女子大学構内を含む外京北部が、どのような空間であったのか、構内遺跡の調査成果や文献史料から具体的に施設を推定し、地割を復元する。その上で、同時期の京都や平泉など他地域と比較し、当該地域が撰関家という「権門」と深く関わった、都市とも呼べる場であり、中世都市奈良の成立と深く関係することをお話したい。

*参考文献

前川佳代「12世紀外京北部の景観—奈良女子大学構内遺跡と佐保殿」

(中世都市研究会編『宗教都市』奈良を考える』山川出版 2017年)

同 「南都焼討と奈良女子大学構内遺跡—12世紀外京北部の景観」

(『都城制研究(10)古代都城とその後と古都へのまなざし』

奈良女子大学古代学学術研究センター2016年)

事前申込は不要です。ご自由にご参加ください。

問合せ先：奈良女子大学古代学学術研究センター

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

奈良女子大学コラボレーションセンター205号室

Phone&Fax. 0742-20-3779